



Cross E
Holdings Co.,Ltd.

個人投資家さま向け 福証IRフェア

2026年8月21日

Cross Eホールディングス株式会社
福岡証券取引所Q-Board 証券コード：231A

AGENDA

1. 会社概要
2. 事業概要
3. 市場と各事業の強み
4. 中期経営計画と進捗状況
5. 決算情報（2026年9月期第3四半期）
6. まとめ

会社概要

これまでの 歩み

1995

ハウステンボス・技術センター(株)を設立
ハウステンボスの施設部を分社化



建設及び機械設置工事

ファシリティ・マネジメント

(建築・構造物建設工事分野)

2017

西日本エンジニアリング(株)の全株式取得



建設及び機械設置工事

(産業用機械設置工事分野)

2022

Cross Eホールディングス(株)を設立
HD化によるグループガバナンス強化



純粋持株会社

2024

福岡証券取引所Q-Boardへ上場
長崎県に本社を置く唯一の上場企業

2025

共新電設工業(株)の全株式取得 2025/10/1



建設及び機械設置工事

(電気・電気通信工事分野)

成長の軌跡

■ 連結売上高
■ 連結営業利益

連結売上高
5,000
(百万円)

15年で

売上高 約**8.9倍**

営業利益 約**43.1倍**

の成長を実現

2025.9
売上高 4,582百万円
営業利益 563百万円

連結営業利益
1,000
(百万円)

2,500

2010.9
売上高 514百万円
営業利益 13百万円

創業

1995.9

2010.9

2011.9

2012.9

2013.9

2014.9

2015.9

2016.9

2017.9

2018.9

2019.9

2020.9

2021.9

2022.9

2023.9

2024.9

2025.9

2026.9

500

0

ハウステンボス以外のファシリティ・
マネジメント業務拡販

西日本エンジニアリング(株)
のグループイン

Q-Board
上場

事業概要

事業概要



建設及び機械設置工事



建築・構造物建設工事分野

- ・ 新築・改修工事
- ・ 設備改修及び更新
- ・ 一級建築士事務所



産業用機械設置工事分野

- ・ 機械器具設置工事
- ・ メンテナンス



電気・電気通信工事分野

- ・ 電気工事
- ・ 電気通信工事

ファシリティ・マネジメント



- ・ 設備管理
- ・ 修繕・営繕
- ・ 指定管理者
- ・ 別荘地区管理

長年の顧客対応で培った 現場遂行力

創業
31st



ハウステンボス技術センター株式会社

ハウステンボスの
多種多様な建物・施設群の
工事・維持管理対応等で
培った**ワンストップ**での
対応力

創業
41st



西日本エンジニアリング株式会社

一般廃棄物プラント施設の
運転効率を見据えた
新設・修繕工事の対応力

創業
81st



共新電設工業株式会社

長崎地場の官公庁向け
電気工事で培った
技術力・施工力

強固な顧客基盤と 分散した事業ポートフォリオ



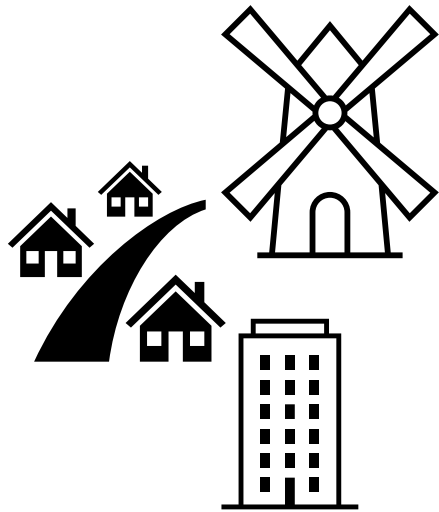
ハウステンボスを中心に
公共施設、民間施設
(ホテル・工場等)の
幅広い顧客基盤を構築

**主要な大手プラント
メーカー**との取引実績

官公庁との**元請**による
取引実績

異なる**3つの市場**で
顧客基盤を構築

長崎県・佐世保から社会インフラを支える



「まち」の維持・管理
施設管理



ゴミ処理施設などの
機械器具設置工事・
メンテナンス



官公庁や学校などの
電気・電気通信工事

【止めてはならないもの】を守るための工事

事業エリア

- これまでの事業エリア
- 拡大した事業エリア

北部九州エリアの
民間工事受注も目指す



ハウスデンボス・技術センター株式会社



共新電設工業株式会社

長崎県・佐世保を中心に
事業を展開

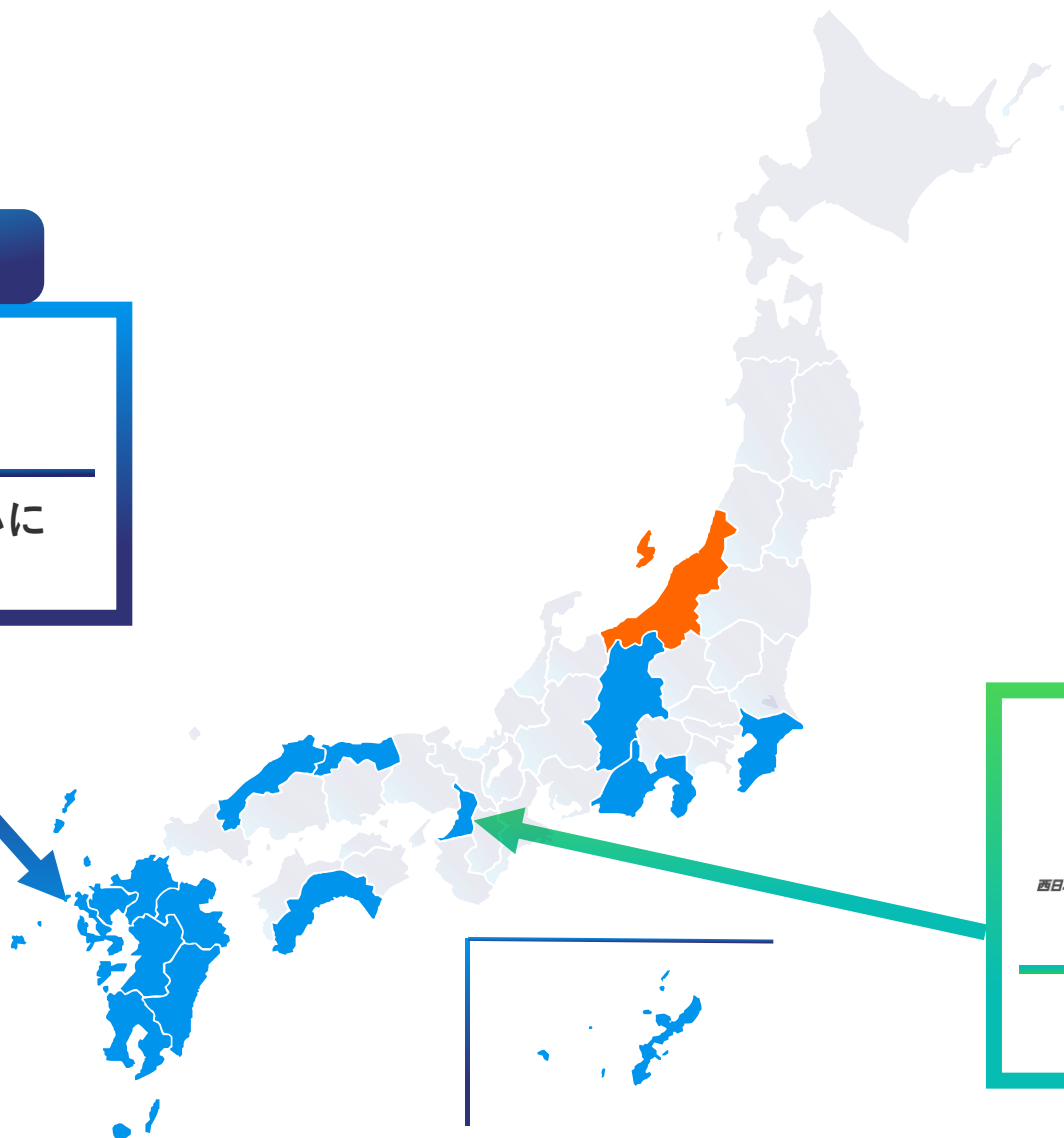
受注エリア拡大へ向けた
取り組みを強化



西日本エンジニアリング株式会社

事業エリア拡大に向け
2025年10月
関西営業所から
関西支店に昇格

全国で事業を展開



市場と各事業の強み

市場と各事業の強み

ハウステンボス・技術センター株式会社



ハウステンボス・技術センター株式会社

- ・ハウステンボスによる施設の新設工事・更新工事需要の継続
- ・開業から30年以上経過した、初期投資2,200億円の施設更新需要の継続

西日本エンジニアリング株式会社



西日本エンジニアリング株式会社

- ・全国各地の一般廃棄物プラント施設の更新工事需要の継続、自衛隊施設の工事需要
- ・防衛関係施設の工事需要の拡大
- ・生活インフラ施設の維持のため、財政や景気の変動を受けにくい

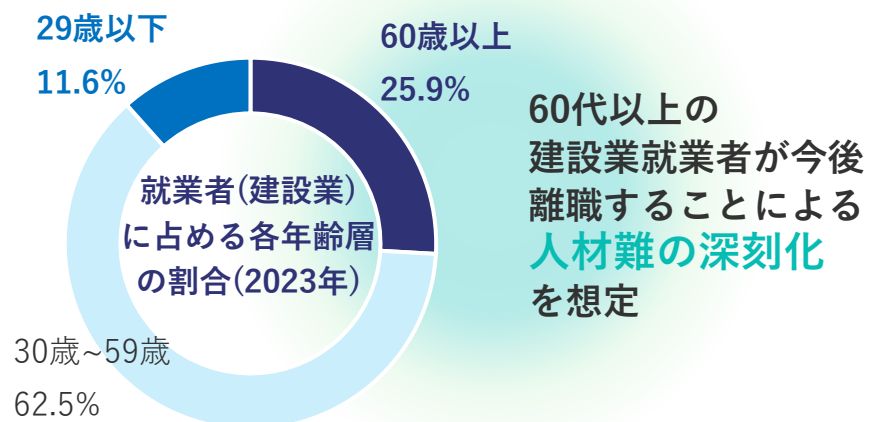
共新電設工業株式会社



共新電設工業株式会社

- ・官公庁による各種施設の更新工事需要の継続、民間工事受注への取り組み
- ・地元の年間120億円の電気工事需要と防衛関連施設の工事需要拡大

当社グループの課題



60代以上の
建設業就業者が今後
離職することによる
人材難の深刻化
を想定

- ・受注余力の上限
⇒工期重複による、機会逸失の可能性
- ・受注の波
- ・材料・外注費の原価費用の値上がりへの対応

供給のキャパシティ（技術者）確保が需要獲得の鍵

技術者の確保に向けた
取組み

- ・ 人材確保に向けた**福岡証券取引所Q-Board上場**による信用力の向上
- ・ 技術者を抱える企業の事業承継型M&A戦略の推進に向けた**HD化**によるグループガバナンス体制の整備

中期経営計画とこれまでの取り組み

中期経営計画の基本方針

基本方針



中期経営計画の概要

新・中期経営計画の目標(2028.9期)

売上高 **6,500**百万円
(2025.9期：4,560百万円)

営業利益 **600**百万円
(2025.9期：560百万円)

ROE **10.0%超**
(2025.9期：12.7%)

事業

- **M&A**を主軸とした事業の地理的・業態的拡張

財務

- **成長投資**と並行して**株主還元**を**両立**するキャピタルアロケーション

人的資本

- 一時的な損益下押しとなっても、**技術者採用拡大**による**受注余力の確保**
- **幹部人材の育成**による次世代経営体制確立

株主還元

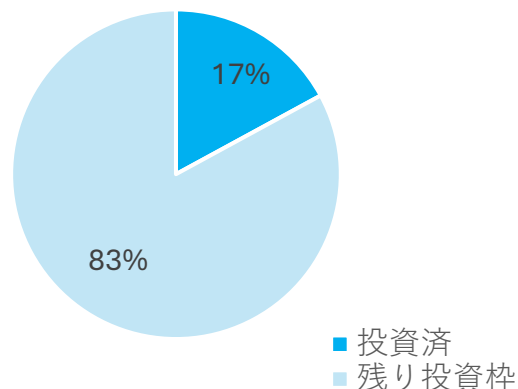
- 安定した株主還元を目的に**累進配当制**を導入

※累進配当制：配当額を減少させず、維持または増配を目指す取り組み

中期経営計画の進捗状況 ※2025年10月～2026年6月

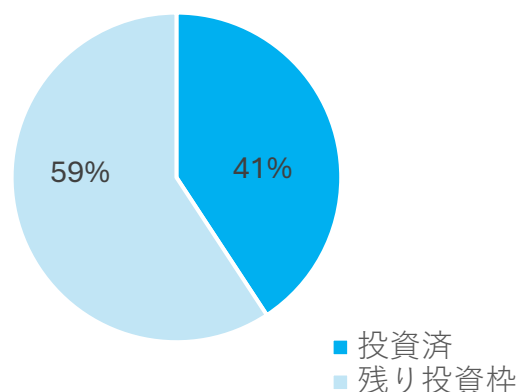
①事業投資

- 事業ポートフォリオ拡大型/
ロールアップ型M&A



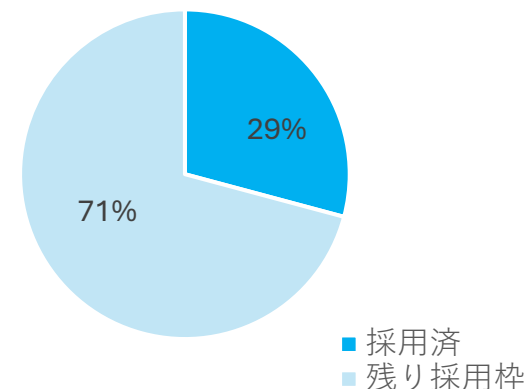
②経営基盤投資

- 事業エリア広域化に向けた
関西地区の拠点整備
- 会計システム投資



③人材確保

- グループ全社の技術者の
採用数



中期経営計画の施策実施状況

- 事業投資における事業ポートフォリオ拡大型M&A第1号として、共新電設工業株式会社がグループインいたしました。（投資総額：4.2億円）
- 経営基盤投資の1つとして掲げておりました事業エリア広域化に向けた関西地区の拠点整備を行うため、2026年4月3日付で不動産を取得しました。現在は連結子会社である西日本エンジニアリングの関西支店を移転し、関西からの事業拡大を目指しております。（投資総額1.6億円）

中期経営計画の進捗状況

知名度・信頼度向上による
技術系人材の獲得



技術系
職種

- ・ 建築・管・土木工事の
一級施工管理技士など
若手から中堅の専門人材を獲得

事務系
職種

- ・ Iターンにて、経験豊富な
内部監査責任者が入社

M&Aによる
事業の地理的・業態的拡張



M&A

- ・ 共新電設工業(株)のグループイン
以降も随時検討中
(プラント工事系、電気工事系など)

決算情報（2026年9月期第 3 四半期）

2026年9月期第3四半期決算の概要

(単位：千円)

	2025年9月期 第3四半期	2026年9月期 第3四半期	増減率
売上高	3,740,149	2,856,698	▲23.6%
営業利益	579,825	284,195	▲51.0%
経常利益	583,280	302,653	▲48.1%
税金等調整前四半期純利益	583,780	303,855	▲48.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益	384,343	195,303	▲49.2%
売上営業利益率	15.5%	9.9%	—

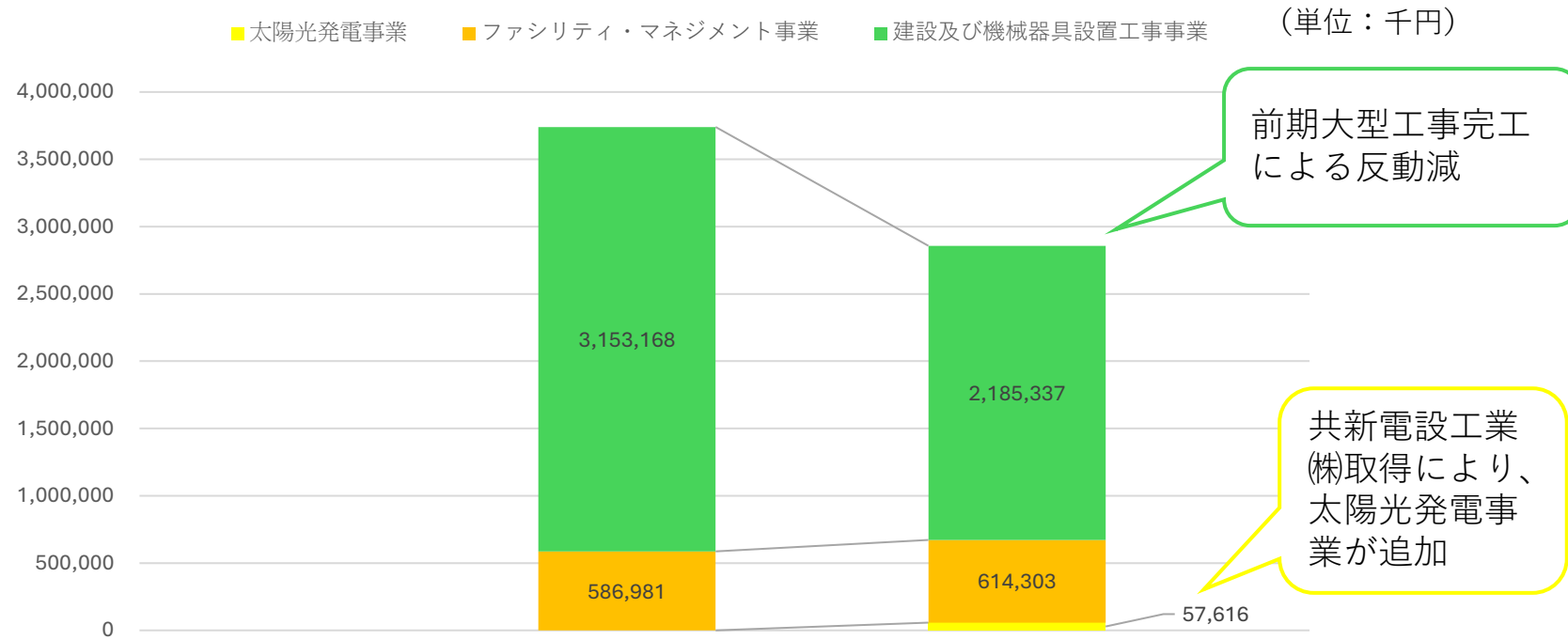
売上高

建設及び機械設置工事事業全体において前期大型工事完工による反動減があったほか、産業用機械設置工事分野について、一部案件の着工時期等の見直しが発生したこと、建築・構造物建設工事分野について、大型案件が来期に向けての検討となったことを含めた案件の後倒しにより減収となりました。

営業利益

粗利率の高い大型案件の反動減と、技術者を中心とした前期人材採用25名の人件費増により、減益となりました。

2026年9月期第3四半期決算の概要



	2025年9月期 第3四半期		2026年9月期 第3四半期	
	売上高	構成比	売上高	構成比
建設及び機械器具設置工事業	3,153,168	84.3%	2,185,337	76.5%
ファシリティ・マネジメント事業	586,981	15.7%	614,303	21.5%
太陽光発電事業	—		57,616	2.0%

まとめ

まとめ

◆業績予想

	売上高	営業利益	売上高 営業利益率	純利益
2025年 9 月期実績 (百万円)	4,582	563	12.2%	321
2026年 9 月期予想 (百万円)	3,725	314	8.4%	214
前年比 (百万円)	▲857	▲249	▲3.8%	▲107

◆配当予想

	1 株当たり期末配当金 (円)	配当総額 (百万円)	連結配当性向
2025年 9 月期実績	55.0	136	35.4%
2026年 9 月期予想	55.0	136	63.9%

株主還元方針

当社では安定した株主還元を目的に2028年 9 月期までの中期経営計画期間において配当性向35%を目安とした**累進配当制**を導入しております。